

スマホ・ケータイの使い始め理由、約半数の保護者は「緊急時の連絡のため」

～考えてみましょう！親子間のスマホルール～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

- ・小中学生の約半数の親が「緊急時に連絡がとれるように」スマホ・ケータイを持たせている。
- ・12歳以上の子どもがスマホを手にするのは中学校への「進学・進級」がきっかけが4割超。「子どもの友だちが持ち始めた」ことがきっかけが3割超。

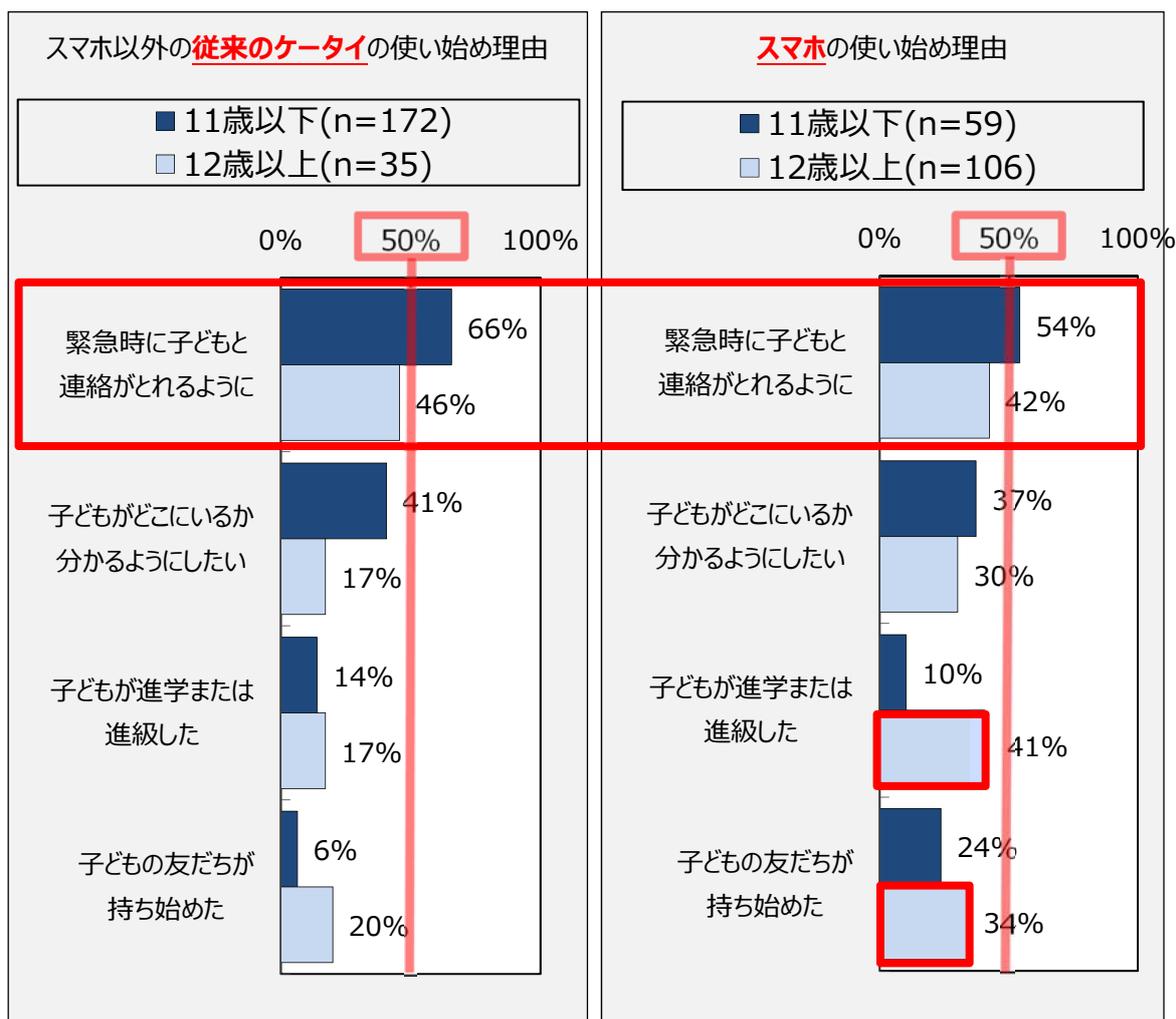
1. 調査結果：子どものスマホ・ケータイ使い始め理由

関東一都六県の小中学生をもつ保護者に、「子どもがケータイを使い始めた理由」と「子どもがスマホを使い始めた理由」を伺いました。

その結果から、従来のケータイ利用者・スマホ利用者ともに、約半数の親が「緊急時に子どもに連絡がとれるように」持たせている実態が浮かび上がりました。

習い事や塾をはじめとする放課後の活動が活発化されるとともに、子どもの安全を第一に考える親心が垣間見えます。

図. 子どもがスマホ・ケータイを使い始めた理由(MA・使い始め年齢別)
[調査対象：関東一都六県在住のスマホ・ケータイ利用の子をもつ保護者]



12歳以上の約4割の子どもは「進学・進級」を機会にスマートフォンを手に入れています。都市部中心に中学受験をする小学生も増加傾向、中学受験～小学校卒業式までの間にほとんどの小学生がスマートフォンを手に入れているようです。小学校の卒業式では別れ別れになってしまうため、手帳や文集に寄せ書きと連絡先を書いてもらうかわりにLINEを交換し合う実態もあるようです。

また、12歳以上の子どもは「子どもの友だちが持ち始めた」ことによるスマートフォンの使い始めも3割を超えています。この卒業式のタイミングで友だち同士でスマホの所有に関する話題をしたり、中学校への「進級」を機に新しい友だちや部活の連絡をLINEにより行っていることが想定されます。

前回のレポートでも「中学入学を機にスマホ利用率が約8割に拡大」とお伝えしましたが、初めてのスマホ・初めてのLINEは幼少時代の遊びと同じ、初めは親が関与し使い方を教える必要があります。また、初めてスマートフォンを持つ時が親子間でスマホルールを話し合ういいタイミング。ぜひ、子どもとスマホルールを話し合ってみてはいかがでしょうか。

2. 調査概要

調査方法	訪問面接調査
調査対象	関東一都六県に在住する小中学生の子どもとその保護者
有効回答数	500組
サンプリング	層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別性年代)] 都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(50地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7～9歳、10～12歳、13-15歳の都市規模別性年代人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出
調査時期	2017年10月

小中学生の方が安心・安全にスマートフォンを利用いただくためのガイドや、スマホ・ケータイ安全教室のご案内を下記のURLで公開しています。ぜひご家庭・学校でご活用下さい。

<<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/>>

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com